２０２５年度　自己評価　評価項目（園の評価）・取組状況まとめ

評価の基準　　Ａ：たいへんよい　Ｂ：よい　Ｃ：普通　Ｄ：反省を要する

	取組状況	自己評価	学校関係者評価
１．カトリック幼稚園教育の理念			
①聖トマ学園の教育理念を理解している	司教様のお話を聴く機会に恵まれ、大切にしていらっしゃる「幼児期の神様との出会い」を日々意識してお祈りするようにしている。毎日のお祈りや行事を通して、子どもたちにも伝えている神様に愛されているということ、愛される経験を感じられるよう保育にあたっている。	A	A
②神に創造された一人ひとりの幼児を大切にする保育を行っている	愛される経験を持つことを大切に、保育を行っている。神様からいただいた大切な命であることを心に留め、一人ひとりと向き合うように心がけている	A	A
③「祈り」の大切さを幼児に教えている	祈りが強制されるものでなく、神さまとお話しすることが日々の生活の中で自然となるよう向き合う時間、手を合わせる姿勢を大切にしている。	A	A
２．教育課程・指導計画			
①一人ひとりの幼児に目を配りながら、共に遊ぶように努めている	幼児も職員も共にワクワクできる楽しい活動を心がけている。一人ひとりをよく見て、大人が必要なタイミングを逃さないようにしている。	B	A
②幼児が基本的生活習慣を習得するように努めている	毎日繰り返しのことであっても個人差があり苦手な子もいる為、視覚教材を準備するなど工夫して対応している。繰り返しのことであっても時折見直す時間を設けたり、できたことを認められるよう声をかけている。	A	A
③幼児の行動を見守り、褒める・叱る・注意するなどの適切な指導を行っている	子どもの行動の意味を考察しながら本人を否定しないよう努めて声をかけている。時にクラス全体の問題として考えられるようにしている。褒めることを多くしている。	A	A
３．保育者として			
①服装、礼儀、言葉遣い、身の振る舞い等、保育者としての品位を保つように努めている	子ども、保護者が安心感を得ることができるよう、また信頼関係構築のため身だしなみや言葉遣いは注意している。	B	A
②園舎・園庭全体の安全、美化・正装、整理整頓、環境浄化などを心がけている	毎月の"点検の日"に園全体を確認、修繕等している。危険個所は無いか、身の回りは整理整頓ができているか、子どもたちに伝える前に自分自身を省みるようにしている。	A	B
③歌、ダンス、リトミック、体操、絵、工作等の表現活動を通して、幼児の創造性を育むように努めている	クラスでは毎日同じ内容にならないよう、子どもの興味関心を引き出す、また表現力創造力を育むことができるよう楽しみながら取り入れていきたい。物の使い方、正しい方法は伝えつつ、創造性が育めるよう自ら選択する機会を作るよう努めている。	B	B
④幼児の行動の特徴等について、教職員が情報を共有し、よりよい対応を検討・実践している	配慮の必要な園児への対応について協力しあえることに感謝し、ふさわしい接し方を検討している。特別な支援の必要性の有無、できるできないで子どもを見るのではなく一人ひとりの成長を見て保育をすることができるよう、前向きな話を職員で共有している。情報を共有しあう意識を各自が持っている。	B	A
４．保護者との関わり			
①保護者との信頼関係ができている	積極的に声をかけられるよう努めている。頑張っていること、最近の様子などを伝え信頼関係を築けるように努めている。	B	B
②幼児の問題点を率直に保護者に伝え、適切な対応をしている	良い面を伝えることを忘れずに、現状も伝えるようにしている。１日の中で起こったことを具体的に話したり、その子がこれから頑張っていきたい点を伝え、保護者の方と共有し取り組んでいる。	B	A
③保護者との間に問題が生じた時には、上司に相談している	一人で解決しようとするのではなく、副担任や保育補助の職員に相談後、副園長にも相談をしている。保護者と話した内容は報告するよう努めている。	A	A
５．組織運営			
①幼児にけが・病気等の事故が生じた時、園長（副園長）に報告している	毎日の終礼時や、大きなけがなど、常に報告できるよう努め、皆で共有している。報告している。	A	A
②職務分掌における自分の役割・分担を心得て行動している	自分の立ち位置を理解し、保育中や保育後に必要な時に適切な働きができるよう、意識して日々を過ごしている。園全体でそれぞれの必要な場面で、役割を果たしていくことを意識している。	B	B